

第1日目 3月28日 (水) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	(東日本大震災)	(地理教育)
9:00	101 小荒井衛 (国土地理院) ほか：東日本大震災における仙台平野の津波浸水域の地理的特徴	201 内田均 (高崎高) ほか：群馬県高等学校「地理」におけるGIS研究授業実践—国土交通省国土政策局による初等中等教育におけるGISの活用
9:20	102 日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム・鈴木康弘* (名古屋大)：東北地方太平洋沖地震による津波被災マップの経緯と意義	202 田中隆志* (前橋商業高)・今井修 (東京大)：Google Earth, MANDARA等を活用したGIS教材の作成—国土交通省国土政策局による初等中等教育におけるGISの活用
9:40	103 阿部朋弥 (名古屋大・院) ほか：2011年東北地方太平洋沖地震津波と869年貞観津波の仙台平野での津波遡上距離と砂層分布限界の関係	203 碓井照子 (奈良大)：「地理基礎」必修化における地図/GISの段階的学習
10:00	104 西城潔 (宮城教育大) ほか：福島市渡利地区における放射線量分布の特徴—国道114号線沿いでの測定事例	204 山本隆太 (早稲田大)：ドイツにおけるESDを意識した地理教員養成の在り方—教員養成スタンダードと学会版ガイドラインの分析
10:20	105 高木亨 (地域開発研) ほか：福島第一原子力発電所事故にともなう住民の避難行動とコミュニティの問題—いわき市川前町高部地区の事例	205 中村光則 (広島大・院)：持続可能な社会の形成者を育成する高等学校地理Aの単元開発—犯罪発生マップを活用した防犯ESD授業の実践を通して
10:40	106 岡本耕平 (名古屋大) ほか：東日本大震災被災地における外国籍住民の分布と支援活動	206 逸見優一 (倉敷天城高)：微化石分析による地域調査と高等学校「地理A・B」と「世界史A・B」
11:00	107 初澤敏生 (福島大)：福島県南相馬市原町地区における東日本大震災後の工業の諸課題	207 神村絵織 (横浜国立大・院)：地理教育における地域の見方・考え方の意義と課題—対馬に暮らす高校生の意識を手がかりに
11:20	108 今井理雄 (駒澤大)：東日本大震災に伴う鉄道の不通・復旧と旅客流動の変化—ひたちなか海浜鉄道を事例として	208 山口幸男 (群馬大)：月の地理学習—宇宙化時代の地理教育の教材開発研究
11:40	109 土谷敏治 (駒澤大)：震災による鉄道の運休と利用者の移動行動	209 小林岳人 (松戸国際高)：教育困難校の改善の方策についての地理学的検討
12:00	昼 休 み	

第1日目 3月28日 (水) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
		9:00
<p>〈観光〉</p> <p>301 鈴木富之（筑波大・院）：長野県峰の原高原におけるペンション経営の変容</p>		9:20
<p>302 澤義明（奈良大・院）：地理学的ツーリズムとしてのジオツーリズムの可能性－奈良県川上村を事例として</p>		9:40
	〈人口・都市〉	
<p>303 磯野巧（筑波大・院）：ガイドの役割からみた伊豆大島ジオパークの内部構造</p>	<p>401 佐藤将（横浜市立大・院）：首都圏における子供の多い世帯の分布の地域差とその要因</p>	10:00
<p>304 平井純子（駿河台大）：エコツアーガイドの現状とその課題－北海道・知床を事例に</p>	<p>402 畠山輝雄（日本大）：合併後の市町村における周辺部の過疎化の検証</p>	10:20
<p>305 杉本興運（首都大・学振DC）：観光空間の評価構造における階層性の抽出－観光関心点の空間的自己相関分析</p>	<p>403 金田亜妃子（横浜国立大・院）：ワーカーズ・コレクティブの展開と高齢者福祉ニーズへの対応－神奈川県藤沢市を事例として</p>	10:40
<p>306 富田啓介（名古屋大）：ジオサイトとしての湧水湿地の利用者層及び利用者満足度</p>	<p>404 北島晴美*（信州大）・太田節子（信州医療福祉専門学校）：2010年都道府県別高齢者死亡率の季節変化</p>	11:00
<p>307 フンク カロリン（広島大）ほか：外国人旅行者と日本人旅行者の動機と行動の違い</p>	<p>405 梅川通久（東京外語大）：「人口密度ポテンシャル」を導入した東南アジア大陸部人口密度分布の分析</p>	11:20
<p>308 崔龍文（通訳案内士）：インバウンド観光の視点による地方圏魅力へのアプローチ－秋田県「IRIS」ロケ地めぐりのブログ分析を通じて</p>	<p>406 桐村喬（立命館大・PD）：六大都市における小地域人口統計データベースの利用可能性－都市の居住地域構造研究との関連を中心に</p>	11:40
<p>昼 休 み</p>		12:00

第1日目 3月28日 (水) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		<p>〈地形〉</p> <p>601 奥野充 (福岡大) ほか: フィリピン, イロシシ カルデラとブルサン火山の噴火史研究</p>
9:20	<p>〈海外 (ヨーロッパ)〉</p> <p>501 春日あゆか (ノッティンガム大) : リーズに おける反煙害運動とその経過, 1800-1830</p>	<p>602 栗山悦宏* (宇宙航空研究開発機構)・鈴木毅 (首都大) : 会津盆地西部におけるボーリン グコア中のテフラと会津盆地西縁断層帯の活 動</p>
9:40	<p>502 根田克彦 (奈良教育大) : イギリス, ノッティ ンガム市におけるディストリクトセンターの変 化</p>	<p>603 河合貴之 (首都大・院) : 福島県会津地域南 部, 阿賀川流域におけるMIS10河成段丘の認 定</p>
10:00	<p>503 遠藤幸子 (川村学園女子大) : 大水深港湾 Jade Weser Portの建設をめぐる3つの連邦州 の対応</p>	<p>604 笠原天生 (首都大・院) ほか: 郡山盆地地下に 分布する郡山層および火山噴出物</p>
10:20	<p>504 池田真利子 (筑波大・院) : 旧東ベルリン地 区・タヘレスにおいて文化的に占拠された異 空間—Gegen Gentrifizierung, つくられた抵 抗・反体制の場所</p>	<p>605 新井悠介 (明治大・院) : 最終間氷期末期にお ける印旛沼南部地域の陸化過程</p>
10:40	<p>505 齊藤由香 (金城学院大) : ブドウ畑の景観を観 光に活かす—スペイン・カタルーニャ自治州バ ナデスにおけるエノツーリズム</p>	<p>606 仲村祐哉 (東京大・院) ほか: MD179航海で 採取した上越沖海底コアの後期更新世テフラ 層序</p>
11:00	<p>506 吉原遼 (筑波大・院) : スペインにおける日本 人旅行者の観光行動空間</p>	<p>607 大上隆史* (中央大)・須貝俊彦 (東京大) : 堆積速度と粒度組成からみた濃尾平野沖積層 の層序と堆積様式</p>
11:20	<p>507 池永正人 (長崎国際大) : スイスアルプス・ア レッチ地域におけるカーフリーリゾートの発展</p>	<p>608 木庭元晴 (関西大) : 大阪平野北部を例とす る更新世地形面上の土質ボーリング粒径区分 とN値に基づく平野地形面の時代区分</p>
11:40	<p>508 市川康夫 (筑波大・学振DC) : フランス条件 不利地域における山地農家の経営基盤—マッ シフ・サントラル, メザン地域を事例に</p>	<p>609 森脇広 (鹿児島大) ほか: 鹿児島湾沿岸におけ る最終融氷期以降の海面変化と海岸環境変化</p>
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第1日目 3月28日 (水) 午前

第 7 会 場		第 8 会 場		開始時刻
〈水文〉				
701	長谷川直子 (お茶の水女子大) ほか:琵琶湖内での姉川起源密度流の挙動			9:00
702	中野智子* (中央大)・篠田雅人 (鳥取大) : 衛星マイクロ波土壌水分量プロダクトを用いた半乾燥草原の土壌水分量推定			9:20
703	一ノ瀬俊明 (国立環境研) ほか:黄河全流域における水資源需給構造の類型化	〈行政〉		
		801	中口毅博 (芝浦工業大) : CO ₂ 排出量に基づく市区町村の類型化に関する研究	9:40
〈気象〉				
704	石川守 (北海道大) : モンゴル永久凍土の温度動態	802	山田彩未 (東京大・学) : 東京都多摩地区水道事業の統合	10:00
705	宮崎真 (北海道大) ほか: モンゴル北部永久凍土域のカラマツ林における水文気象・生態・年輪年代の長期モニタリングの初期解析	〈地理思想〉		
		803	成瀬厚 (東京経済大・非) : 塗り重ねられた風景—ゲルハルト・リヒターの風景芸術	10:20
706	高橋信人* (宮城大)・加藤内藏進 (岡山大) : 日本の梅雨期と秋雨期における前線活動に伴う雨域の比較	804	熊谷圭知 (お茶の水女子大) : 場所論と場所の生成—他者化を越えた地誌のための覚書	10:40
707	菅野洋光* (農研機構)・渡部雅浩 (東京大) : 全球気候モデルMIROC5によるヤマセ型気圧配置の再現性	805	宇都宮陽二郎 (三重大・名誉教授) : 画像の中の地球儀 (その2) —続Hitlerの地球儀	11:00
708	大久保さゆり (農研機構) ほか: 高解像度気象データの農作物警戒情報システムへの応用	806	立岡裕士 (鳴門教育大) : 『御伽草子』における地理的知識	11:20
709	水戸俊成 (首都大・学) ほか: 風力発電所の立地と発電量に関する研究—太鼓山風力発電所と苫前夕陽丘ウィンドファームの実測データを用いて	807	野上道男 (東京都立大・名誉教授) : 魏志東夷倭人伝の方位と里程	11:40
<p>昼 休 み</p>				12:00

第1日目 3月28日 (水) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
13:00	シンポジウム S01 [公開] 東日本大震災と地理学 ーハザードマップを再考するー	地理教育公開講座 海洋資源の保全を考える
13:20	日本地理学会災害対応委員会 オーガナイザー：熊木洋太（専修大）・ 宇根寛（国土地理院）・鈴木康弘（名古屋大）	日本地理学会地理教育公開講座委員会
13:40	開始時刻 13:00 司会：田中靖（駒沢大）	開始時刻 13:00
S0101 13:00	熊木洋太ほか：シンポジウム趣旨説明	13:00 挨拶・講師紹介
S0102 13:15	宇根寛*（国土地理院）・青山雅史（日本地図センター）：内陸部の液状化と液状化ハザードマップの予測可能性	13:05 松本博之（奈良女子大・名誉教授）：オーストラリア・トレス海峡諸島民のジュゴン猟とその窮状
S0103 13:35	村山良之（山形大）：丘陵地等の造成地における東日本大震災による被害とハザードマップ	13:45 森下丈二（水産庁漁政部参事官）：海洋資源の保全と利用ー捕鯨問題の象徴するもの
S0104 13:55	宮城豊彦（東北学院大）：地域レベルでの防災対応策は津波減災にどう役立ったか	14:25 質疑応答
S0105 14:15	近藤昭彦（千葉大）ほか：放射能汚染と地理学ー汚染の分布をいかに地図化するか	終了時刻 15:00
S0106 14:35	谷謙二（埼玉大）：東日本大震災に際しての地図・資料の作成・公開と課題ー人文地理学の立場から	(GIS) 210 水谷千亜紀（筑波大・院）：土地利用の遷移過程と幾何的特徴に関する時空間分析
15:00		
15:20	〈コメント〉 15:05 塚本哲（国際航業）・鈴木康弘	211 森田匡俊（名古屋大・研）ほか：2変量ローカル・モラン統計量を用いたサービス需給の空間パターンの分析
15:40	〈総合討論〉 15:25～16:00 座長：平井幸弘（駒沢大）・熊木洋太	212 増山篤（弘前大）：等値線に基づく地域区分方法と他方法との比較
	終了時刻 16:00	
16:00	16:00～16:45 日本地理学会各賞表彰式	213 山本敏貴（筑波大・院）ほか：キャンパスGISの構築と利活用
16:20		214 森本健弘（筑波大）ほか：スマートフォン・タブレット端末を用いた対話型クラウドGISによる共同的な空間データ収集
16:40	17:00～17:45 会長講演 田林明：商品化する日本の農村空間	215 建石隆太郎（千葉大）ほか：地理空間データ蓄積共有システムCEReS Gaiaの開発
17:00		

第1日目 3月28日 (水) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
〈地域計画〉	〈農業・農村〉	
309 坪井塑太郎 (日本大) : 景観写真撮影とCS分析による親水公園の施設計画に関する研究—東京都江戸川区・小松川境川親水公園を事例として	407 高木陽光 (首都大・院) : 大都市近郊の公有地化された農地の維持システム—東京大都市近郊の見沼田圃を事例として	13:00
310 太田慧 (首都大・院) : 多自然川づくりにおける地域住民の合意形成プロセスとその妥当性—東京都杉並区済美公園の事例	408 橋本暁子 (筑波大・院) : 京都市北区上賀茂における野菜行商の存続要因	13:20
311 佐藤正志 (東京大・研) : 先駆的自治体における政策相互参照の空間的特徴—四日市市・北上市の企業立地促進法の事例	409 高橋靖典 (筑波大・院) : 秋田県における集落営農化の進展と地域農業の変化—横手盆地の稲作農村を事例に	13:40
312 香川貴志 (京都教育大) : 再開発地区の商業者と居住者による環境評価の不整合—上海市芦湾区田子坊の事例	410 川久保篤志* (島根大)・中川秀一 (明治大) : 日本山村における「地域存続力」に関する研究 (1) —鳥取県大山山麓エリアにおける事例	14:00
313 堀本雅章 (法政大) : 小規模離島における学校の役割と住民意識—沖縄県水納島, 慶留間島, 大神島, 鳩間島を比較して	411 安食和宏 (三重大) : 日本山村における「地域存続力」に関する研究 (2) —山形県朝日連峰の山村の事例	14:20
314 今井修 (東京大) : 島根県飯南町自治振興会におけるGISを活用した地域づくり手法の研究	412 久島桃代 (お茶の水女子大・院) : グローバル化のなかでの都市から農村への女性の移動とその主体構築—福島県昭和村の「体験織姫制度事業」に着目して	14:40
315 佐竹泰和 (東京大・院) : 周辺地域におけるブロードバンド整備とインターネット利用の変化—北海道東川町を事例として	413 坂下由衣 (名古屋大・院) : 沖縄県与那国島における馬飼育の展開と存立基盤	15:00
316 中村努 (東京大・研) : 地域医療連携におけるICT利用の空間性	414 池田和子 (首都大・院) : 「食文化」の商品化とロカリティ	15:20
〈地域振興〉		
317 篠崎遼太郎 (法政大・院) : 世界遺産登録による観光と住民意識—平泉町「歴史景観地区」を事例として	415 上村博昭 (早稲田大・院) : 中山間地域における農産加工事業の展開と課題—大分県竹田市を事例に	15:40
318 和田崇 (徳山大) : コンテンツを活用した地域振興活動の発展要因と活用パターン	416 則藤孝志 (京都大・学振DC) : 和歌山県田辺市における農商工連携の展開と地域づくり—「ダイダイプロジェクト」に着目して	16:00
319 天野宏司 (駿河台大) : コンテンツを活用した観光振興実践—秩父アニメツーリズムの事例	417 淡野寧彦 (愛媛大) : 異業種間関係からみた秋田県湯沢市における麺類産業の展開	16:20
		16:40
		17:00

第1日目 3月28日 (水) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈海外 (アジア・アフリカ)〉	〈地形〉
13:00	509 殷冠文 (九州大・院) : 中国における地方政府主導による都市形成—内モンゴル自治区オルドス市の事例	610 長谷川裕彦 (明治大・非) ほか : 大雪山中央部, 白雲圏谷における完新世氷河作用
13:20	510 嚴婷婷 (筑波大・院) : 長春市における女性消費者の購買行動の空間的特徴—自動車産業開発地区の居住者を事例に	611 佐々木明彦 (信州大) ほか : 大雪山中央部, 白雲圏谷における土層および斜面構成物の年代
13:40	511 王鵬飛 (首都師範大) ほか : 急速発展中の北京市近郊農村に対する考察	612 高橋伸幸 (北海学園大) ほか : 大雪山中央部, 高根ヶ原周辺の氷河地形
14:00	512 全志英 (筑波大・院) : 韓国密陽市山内面のリング農園におけるアグリ・ツーリズムの展開	613 福井幸太郎*・飯田肇 (立山カルデラ砂防博) : 飛騨山脈, 立山・剱山域の3つの多年性雪渓の氷厚と流動—現存する氷河の可能性
14:20	513 金美賢 (首都大・院) : 韓国の農村における社会関係資本の再編にともなう地域活性化—全羅北道任實郡チーズ村の事例	614 阿部洋祐 (北海道大・院) ほか : 地形学的解釈と氷河流動モデルの融合による氷河復元手法の検討
14:40	514 小野智郁 (北海道大・院) ほか : モンゴル定住牧畜民の現状と将来—バツンパー郡を事例として	615 梶山貴弘* (日本大・院)・藁谷哲也 (日本大) : カラコラム山脈・フンザ川流域における氷河台帳の作成と氷河分布
15:00	515 伊藤千尋 (総合地球環境学研) : ザンビアにおける中小都市の発達プロセスと近郊農村への影響	616 水野一晴 (京都大) : 地球温暖化によるケニア山の氷河縮小と植生遷移
15:20	516 中井信介 (学振PD・大谷大) : 生業活動の域内多様度に関する予備的考察—タイ北部ナン県におけるモン村落の事例比較	617 遠藤海斗 (早稲田大・院) : 蓼科山東方における岩塊斜面
15:40	517 渡辺和之* (立命館大・非)・上羽陽子 (国立民族学博) : 羊毛織物ラリを織り続ける人々—東ネパール・オカルドゥンガ郡ルムジャタル村の事例から	618 菅沢雄大* (明治大・院)・増沢武弘 (静岡大) : 南アルプス南部, ダマシ平南西斜面における周氷河性平滑斜面の発達史と植物群落
16:00	518 辰己佳寿子 (山口大) ほか : 地域主導型森林管理に関する一考察—ネパール山岳地域と山間地域の比較から	〈植生 (亜高山)〉
16:20	519 木本浩一 (広島女学院大) ほか : インドにおける地域ガバナンスとしての森林管理—カルナータカ州の事例から	619 沖津進 (千葉大) : 東北日本亜高山域の植生構造と植生地理
16:40	520 池谷和信 (国立民族学博) : バングラデシュにおける定期市と豚の流通	620 山縣耕太郎*・島村信幸 (上越教育大) : 新潟・長野県境付近における偽高山帯の成立条件
17:00		621 安田正次 (千葉大・非) : ハイマツの年枝生長量と年輪生長量の比較

第1日目 3月28日 (水) 午後

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
〈都市 (社会)〉	〈歴史〉	
710 杉本昌宏 (奈良大・院) ほか: 大阪日本橋におけるサブカルチャーによる創造都市の研究	808 山根拓 (富山大): 近代的域形成主体としての地方有力商人の役割-近代的港湾都市・敦賀の形成と大和田荘七	13:00
711 山本健太* (九州国際大)・久木元美琴 (学振PD・首都大): 東京における小劇場演劇観劇者の行動特性-劇場Aにおける劇団Hの公演を事例として	809 秋元裕介 (東京大・学): 明治期以降の金沢市における商業集積の変容過程-尾張町を事例として	13:20
712 小嶋梓 (大阪大・院): インナーシティにおけるひたつくりの2類型	810 蔡尚鎬 (久留米大・院): 日本統治時代台湾における肥料の需要地域	13:40
713 神谷浩夫 (金沢大): バングラデシュで働く日本の若者	811 三上絢子 (法政大・研): 米軍統治下の奄美有良集落における食糧生産と流通	14:00
714 西山弘泰 (明治大・院): 首都圏郊外における地主の土地利用とその変遷	812 相馬秀廣 (奈良女子大) ほか: 衛星考古地理学からみたキルギス共和国チュール川流域都城址アクベシム遺跡および周辺遺跡の特徴	14:20
715 伊藤徹哉 (立正大) ほか: 大都市圏外縁部における人口減少下の地域再編-埼玉県北部地域を事例に	813 赤石直美 (立命館大) ほか: 『京都市明細図』を用いた占領期京都研究の可能性	14:40
716 橋詰直道 (駒澤大): 超郊外別荘地における定住化と高齢化の進展-千葉県外房勝浦市と御宿町の事例	814 根元裕樹 (首都大・院) ほか: 洪水氾濫シミュレーションを用いた備中高松城水攻めに関する研究	15:00
717 山下博樹* (鳥取大)・伊藤悟 (金沢大): アメリカ合衆国南西部における砂漠都市の盛衰とゴーストタウンの再生	815 清水克志* (農研機構)・山下須美礼 (筑波大): 近世中期の盛岡藩における知行形態と地域資源の分布-「産物調査」を手掛かりとして	15:20
718 澤田学 (奈良大・院): 首都圏の空港アクセス鉄道の現状と新たな案の提唱	816 服部亜由未 (名古屋大・学振DC): 大規模鯉漁家青山家の漁夫雇入れ活動と経営戦略	15:40
719 田中健作 (広島大・院): 瀬戸内海西部地域における離島航路の再編と地元自治体の対応	817 林泰正 (中部大・学): 鉄道施設跡地の復原における地籍資料の活用-岐阜県可児市・旧東濃鉄道を例に	16:00
720 小室哲雄 (駒澤大・院): 自治体が供給する公共交通の類型化-埼玉県を事例に	818 乾睦子* (国士館大)・青山智哉 (さいたま市立桜山中): 埼玉県安戸地域における採石場立地の変遷-旧版地形図を手がかりに	16:20
721 神谷隆太 (筑波大・院): ガソリンスタンド過疎地域の空間的分布と形成要因		16:40
		17:00

第2日目 3月29日 (木) 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈東日本大震災〉	
9:00	110 岩船昌起 (志學館大) : 堤防を越えた津波の動態と人びとの避難行動—宮古市役所から撮影した「2011年3月11日の津波映像」の解析	
9:20	111 佐藤浩 (国土地理院) ほか: SAR干渉画像で捉えた東北地方太平洋沖地震による地すべり性地表変動	
	〈災害・地形〉	
9:40	112 渡辺満久 (東洋大) ほか: 日本海溝とその周辺の活断層と巨大地震	
		〈植生 (海外)〉
10:00	113 岡谷隆基 (国土地理院) ほか: 航空レーザ測量データを用いた植生の樹高を考慮した土地被覆分類の試行	216 高岡貞夫* (専修大)・スワンソン, F.J. (米国農務省森林局) : カスケード山脈ブルーリバー流域における土地利用と林野火災の歴史
10:20	114 山口哲由 (愛知大・研) : 山地における災害の変化—2010年インド・ラダークでの集中豪雨被害をめぐる考察	217 藤岡悠一郎 (学振PD・京都大) : ナミビア農牧社会における樹木への命名と個体認識—文化景観としての農地林
10:40	115 海津正倫 (奈良大) ほか: インドネシア共和国ジョグジャカルタ市近郊における河川災害	218 山科千里 (京都大) : ナミビア北東部, モパネ植生帯においてシロアリ塚上に形成される植生の形成過程
		〈植生 (国内)〉
11:00	116 小玉芳敬* (鳥取大)・河本悠佑 (鳥取大・院) : 流木による堰上げで生じた2009年佐用水害の実態	219 小川滋之 (千葉大・院) : 地質の分布とカバノキ属樹木4種の生育地の関係
11:20	117 古田昇 (徳島文理大) ほか: 地形環境からみた水災害被災実績のGIS分析	220 藤本潔* (南山大)・小南陽亮 (静岡大) : 愛知県「海上の森」におけるナラ枯れの現状と炭素固定機能への影響
11:40	118 竹内裕希子 (京都大) ほか: 兵庫県宍粟市における参加型地図作成と住民の防災行動の関連性	221 小室隆 (東京大・院) ほか: 米軍空中写真を用いた高度経済成長期以前の湖沼水生植物分布の復元
12:00	昼 休 み	

第2日目 3月29日 (木) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p><都市 (産業)></p> <p>320 山下宗利 (佐賀大) : 都市空間の変容と不動産 - 東京・日本橋三丁目を事例に</p> <p>321 加藤拓 (早稲田大・院) : まちづくり三法下における商業機能の動向と中心市街地活性化政策の課題-愛知県豊橋市を事例として</p> <p>322 菊池慶之*・手島健治 (日本不動産研) : 東京都心3区におけるオフィスビルの建替動向とその特徴</p> <p>323 半澤誠司 (明治学院大) ほか: 技術変容がもたらした福岡市におけるゲーム産業集積の形成</p> <p>324 小柳真二 (九州大・院) : 産学連携の空間特性に関する分析-九州大学の事例</p> <p>325 中村幸広 (法政大・院) : シリアスゲームプロジェクトにおける産学官連携-GFF・九州大学・福岡市の取組みを事例に</p> <p>326 秦洋二 (流通科学大) : 企業の採用戦略と店舗展開の関係-ハンドメイドコスメ店を事例に</p> <p>327 杉野弘明 (筑波大・院) : 日本企業による中国法人設立の空間的変容</p> <p>328 古川智史 (東京大・院) : 国内における大手広告会社の事業所展開とその再編</p>	<p>シンポジウム S11 [公開]</p> <p>ICTを活用した地理学の情報発信・社会普及と連携</p> <p>日本地理学会ICTを活用した地理学の社会普及・連携に関する研究グループ</p> <p>オーガナイザー: 目代邦康 (自然保護助成基金)</p> <p>開始時刻 9:00</p> <p><趣旨説明> 目代邦康 (自然保護助成基金)</p> <p>司会: 澤田結基 (福山市立大)</p> <p>S1101 9:05 山田晴通 (東京経済大) : ウィキペディアと地理学教育の連携の可能性</p> <p>S1102 9:25 谷謙二 (埼玉大) : 地理学関連ソフトウェア・Webサービスの開発・公開とユーザー対応</p> <p>S1103 9:45 古橋大地 (東京大) : デジタル世代にとって地理学はリアルとネットをつなぐ架け橋</p> <p>S1104 10:05 齋藤仁*(学振PD・東京大)・松山洋(首都大) : SWING systemを用いた2種類の降雨イベントのリアルタイムモニタリング-平成23年台風12号による紀伊半島での土砂災害を事例に</p> <p>司会: 小口高 (東京大)</p> <p>S1105 10:25 目代邦康 (自然保護助成基金) : インターネットを用いた日本の学協会の情報発信</p> <p>S1106 10:45 荻谷愛彦 (専修大) ほか: E-journal GEO-その現状と課題</p> <p><コメント> 11:05 伊藤智章 (静岡県立吉原高)</p> <p><総合討論> 11:25~12:00</p> <p>座長: 目代邦康・小口高</p> <p>終了時刻 12:00</p>	<p>9:00</p> <p>9:20</p> <p>9:40</p> <p>10:00</p> <p>10:20</p> <p>10:40</p> <p>11:00</p> <p>11:20</p> <p>11:40</p> <p>12:00</p>
<p>昼 休 み</p>		<p>12:00</p>

第2日目 3月29日 (木) 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
9:00		<p>(地形)</p> <p>622 川原一洋 (首都大・院) ほか：地形形態の自然度に関する定量的研究—多摩丘陵を事例に</p>
9:20		<p>623 佐藤佑輔 (立正大・院)：丘陵地谷頭部の微地形形成過程からみた水流発生条件の時空間的变化—岩殿丘陵の事例を中心に</p>
9:40		<p>624 荻谷愛彦*・高岡貞夫 (専修大)：年輪ウィグル・マッチングによるドンドコ沢岩屑なだれ発生年代の推定</p>
10:00	<p>〈自然保護・環境〉</p> <p>521 竹本弘幸 (拓殖大)：「行政災害」—八ッ場ダム検証に見る国交省河川部門の不正報告について</p>	<p>625 小松原琢 (産業技術総合研) ほか：2004年中越地震時の地すべりと山地斜面の発達過程</p>
10:20	<p>522 東善広*・大久保卓也 (琵琶湖環境科学研究センター)：琵琶湖流域における河川の変遷と上下流の連続性</p>	<p>626 島津弘 (立正大)：梓川上流，上高地徳沢—明神間の継続観察地における2011年に生じた河床地形変化と降雨の関係</p>
10:40	<p>523 白岩孝行 (北海道大)：オホーツク海・親潮の巨大魚附林としてのアムール川流域</p>	<p>627 山田和芳 (鳴門教育大) ほか：地震津波検出計としての湖沼年縞堆積物の有効性</p>
11:00	<p>524 増野高司 (国立民族学博・研) ほか：沖縄島におけるマングローブ利用の地域性</p>	<p>628 石川智* (九州大・学振DC)・鹿島薫 (九州大)：別寒辺牛湿原高層湿原における現生珪藻の側方変化</p>
11:20	<p>525 田瀬則雄 (筑波大) ほか：ユーカリ林を組み込んだ土地利用連鎖系による持続的土地利用の実証と体系化—その1</p>	<p>629 菅浩伸 (岡山大) ほか：ワイドバンドマルチビーム測深によって明らかになった石垣島・名蔵湾の沈水カルスト地形</p>
11:40	<p>526 鈴木沙和子 (横浜市立大・院)：営巣環境選好性から見るカラス2種の都市環境への適応要因</p>	
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第2日目 3月29日 (木) 午前

第 7 会 場	第 8 会 場	開始時刻
		9:00
<p>〈気候〉</p> <p>722 野口泰生（国士舘大）：中信高原霧ヶ峰の南風について</p>		9:20
<p>723 加藤隆之*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：夜間の二次元局地気流モデルの開発と陸風・斜面下降流への適用－洞爺湖を例として</p>		9:40
<p>724 池田亮作（筑波大・学振DC）ほか：都市街区を対象にした並列都市LES気象モデルの開発</p>		10:00
<p>725 松原健太（法政大・院）ほか：イチョウの黄葉と都市の微気候について</p>		10:20
<p>726 越山大貴*（信州大・院）・榊原保志（信州大）：長野市浅川地域における山風が市街地に及ぼす影響</p>		10:40
<p>727 仁科淳司*（明治学院大・非）・三上岳彦（帝京大）：銚子における夏季の地上気圧の50年間の経年変化と年々変動－熊谷との比較</p>		11:00
<p>728 高根雄也*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：過去22年間に関東平野内陸域で観測された極端な高温現象発生時のメソスケールの特徴</p>		11:20
<p>729 鶴島大樹（東北大・院）ほか：東京周辺における夏季落雷頻度分布と地上気象場の関係</p>		11:40
<p>昼 休 み</p>		12:00

第2日目 3月29日 (木) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 3 会 場
	<p>シンポジウム S12 [公開]</p> <p>大地の遺産 ー地理学からの提案ー</p> <p>日本地理学会ジオパーク対応委員会 オーガナイザー：菊地俊夫（首都大）・ 小泉武栄（東京学芸大）・岩田修二（立教大）</p> <p>開始時刻 13:00</p> <p style="text-align: right;">司会：菊地俊夫・目代邦康</p>	<p>シンポジウム S13</p> <p>日本のクラスター政策と 地域イノベーション</p> <p>オーガナイザー：松原宏（東京大）・ 近藤章夫（法政大）</p> <p>開始時刻 13:00</p>
	<p>S1201 13:00 (趣旨説明) 岩田修二（立教大）：大地の遺産ー地理学からの提案</p> <p>S1202 13:20 小泉武栄（東京学芸大）：「大地の遺産100選」を早く選ぶ</p> <p>S1203 13:40 中井達郎（国士舘大・非）：「大地の遺産」としての日本のサンゴ礁</p> <p>S1204 14:00 松本淳（首都大）：日本の気候が作り出す大地の遺産</p> <p style="text-align: right;">司会：岩田修二・小泉武栄</p> <p>S1205 14:40 菊地俊夫（首都大）：大地の遺産としての武蔵野と玉川上水ー地理学から提案するジオツーリズムの1つとして</p> <p>S1206 15:00 新名阿津子（とっとり地域連携・総合研究センター）：山陰海岸ジオパークにおけるジオストーリーの再構築ー湖山池と鳥取砂丘を事例に</p> <p>S1207 15:20 有馬貴之（首都大）：観光地理学の視点と大地の遺産百選ー小笠原諸島父島を事例に</p> <p>S1208 15:40 渡辺悌二（北海道大）：公園管理の視点からみた大地の遺産</p> <p>〈総合討論〉 16:00～17:00</p> <p style="text-align: right;">終了時刻 17:00</p>	<p>S1301 13:00 松原宏（東京大）：日本のクラスター政策と地域イノベーション</p> <p>S1302 13:20 三橋浩志（文部科学省）：日本における地域イノベーション政策</p> <p>S1303 13:40 近藤章夫（法政大）：先端産業のグローバル競争と地域政策の役割</p> <p>S1304 14:00 與倉豊（東京大）：地域イノベーションのネットワーク分析</p> <p>S1305 14:30 外柙保大介（文科省科学技術政策研）：産業集積地域における地域イノベーション</p> <p>S1306 14:50 野澤一博（日本立地センター）：科学技術型イノベーションの空間</p> <p>S1307 15:10 遠藤秀一（東京大・院）：筑波研究学園都市における産学官連携の空間的展開</p> <p>〈コメント〉 15:40 山本健兒（九州大）</p> <p>〈総合討論〉 16:00～17:00</p> <p style="text-align: right;">終了時刻 17:00</p>

第2日目 3月29日 (木) 午後

第 7 会 場		開始時刻
<p style="text-align: center;">シンポジウム S14 [公開]</p> <p style="text-align: center;">都市気候研究の最前線</p> <p style="text-align: center;">日本地理学会都市気候環境研究グループ オーガナイザー:三上岳彦(帝京大)</p> <p style="text-align: center;">開始時刻 13:00</p> <p>〈趣旨説明〉三上岳彦</p> <p>第Ⅰ部 広域首都圏におけるヒートアイランドの実態と形成要因</p> <p style="text-align: right;">座長:森嶋 済</p> <p>S1401 13:10 大和広明(首都大・院)ほか:夏季日中における首都圏のヒートアイランドの実態と形成要因</p> <p>S1402 13:30 高橋日出男(首都大):東京都区部における短時間強雨と建物物群の空間構造</p> <p>第Ⅱ部 都市内緑地のクールアイランド</p> <p style="text-align: right;">座長:浜田 崇</p> <p>S1403 13:50 清水昭吾(首都大・院)ほか:自然教育園における冷気のにじみ出し現象</p> <p>S1404 14:10 菅原広史(防衛大)ほか:都市内の緑地は周辺市街地をどれくらい冷やしているか?</p> <p>第Ⅲ部 都市気候の数値シミュレーション</p> <p style="text-align: right;">座長:三上岳彦</p> <p>S1405 14:40 日下博幸(筑波大)ほか:首都圏の夏季気候の将来予測と健康影響評価</p> <p>S1406 15:00 足永靖信(国交省国土技術政策総合研):CFDによる東京都内の夏季気温分布シミュレーション</p> <p>〈総合討論〉15:20~16:00</p> <p style="text-align: center;">終了時刻 16:00</p>		

第1・2日目 3月28・29日 (水・木)

第 11 会 場

ポスター発表

ポスター発表は、3月28日(水)10時~17時と3月29日(木)9時~15時に行われます。

発表者による説明は、3月28日(水)12時~12時30分もしくは3月29日(木)12時~12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P1101	林崎涼* (首都大・院)・白井正明 (首都大) : 福島県松川浦周辺における東北地方太平洋沖地震の津波堆積物	P1112	中田高 (広島大) ほか : 日向海盆およびその周辺の海底活断層の位置・形状と大地震
P1102	青山雅史 (日本地図センター) : 2011年東北地方太平洋沖地震による宮城県北部大崎平野の地盤災害	P1113	八反地剛 (筑波大) ほか : 秋吉台のドリーネにおける石灰岩の溶解速度
P1103	日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム・松多信尚* (名古屋大) : 2011年東北地方太平洋沖地震の縮尺1:25,000広域津波被災マップー空中写真実視判読による検討	P1114	宋苑瑞* (筑波大)・アンドラス モルゴス (東京芸大) : ナノライムや樹脂を用いた岩石の強化実験ー大谷石, 琉球石灰岩, 安山岩を中心に
P1104	日本地理学会災害対応本部津波被災マップ作成チーム・杉戸信彦* (名古屋大) : 空中写真の実視判読に基づく2011年3月11日東北地方太平洋沖地震の津波浸水域の認定	P1115	松本真弓 (三重大・院) ほか : パテイン地点におけるイワジデルタの堆積物
P1105	春山成子*・成瀬翔平 (三重大) : 佐原周辺地域の土地利用変化と災害リスク	P1116	石原武志 (東京大・院) ほか : 荒川・妻沼低地と中川・渡良瀬低地における沖積層の形成過程とその対比
P1106	廣内大助 (信州大) ほか : 平成23年9月の台風15号による名古屋市の浸水被害	P1117	堀和明 (名古屋大) ほか : 石狩平野内陸部の沖積層
P1107	宗建郎 (西南学院大・非) ほか : 土地利用の長期的変化による河川流量への影響ー福岡市における事例研究	P1118	町田尚久 (立正大・院) : 荒川中流部における砂州堆積物の発達とその要因
P1108	阿子島功 (福島大) ほか : ペルー, ナスカ盆地周辺の山地斜面の古環境指標としての陸生巻貝について	P1119	河角龍典* (立命館大)・小野映介 (新潟大) : 伊勢平野中部における完新世後半の海岸低地の形成過程
P1109	比企祐介 (日本大・院) ほか : アンコール・ワットの第一回廊を構成する砂岩柱の強度と風化条件	P1120	丹羽雄一 (東京大・学振DC) ほか : 西方への傾動沈降を示唆する濃尾平野における完新世相対的海面変化
P1110	奥野充 (福岡大) ほか : アリュースシャン列島西中部, アダック島の完新世テフラ層序	P1121	藤本展子* (東北学院大・院)・松本秀明 (東北学院大) : 亘理平野に分布する浜堤列の形成時期と「鳥の海」の成因に関する再検討
P1111	熊原康博 (群馬大) ほか : プータン南部ゲレフ地域の断層変位地形	P1122	近藤玲介 (産業技術総合研) ほか : 北海道北部, 利尻火山, 南浜湿原の成立過程
		P1123	黒木貴一 (福岡教育大) ほか : 5mDEMによる大分川の地形縦断曲線

第1・2日目 3月28・29日（水・木）

第12会場

ポスター発表

ポスター発表は、3月28日（水）10時～17時と3月29日（木）9時～15時に行われます。

発表者による説明は、3月28日（水）12時～12時30分もしくは3月29日（木）12時～12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P1201	飯島慈裕（海洋研究開発機構）ほか：東シベリアにおける永久凍土活動層の湿潤化と森林生態水文変化	P1215	尾方隆幸（琉球大）：観光鍾乳洞における大気環境モニタリングー沖縄島南部「玉泉洞」での観測事例
P1202	咏梅*（東北大・院）・境田清隆（東北大）：中国内モンゴル草原における衛星データから得られた植生指標の変動とその要因について	P1216	赤坂郁美（首都大）ほか：フィリピンにおける1910-2010年の季節降水特性の長期変動
P1203	泉岳樹（首都大）ほか：航空機リモートセンシングデータを用いた緑被率推定ー杉並区を対象にして	P1217	三上岳彦（帝京大）ほか：2011年夏季節電による東京都心部のヒートアイランド緩和効果
P1204	大西有子*・ベリー バム（オックスフォード大）：気候変動による生物への影響評価のための生物分布モデルの比較	P1218	村井謙太*（首都大・院）・高橋日出男（首都大）：中央日本における寒冷前線通過に伴う降水の特徴
P1205	飯田義彦（京都大・院）ほか：滋賀県高島市朽木におけるトチノキ巨木林の伐採と山林利用の動向	P1219	伊東瑠衣*（京都大・院）・里村雄彦（京都大）：地理的条件が異なる都市での土地利用変化と気温上昇
P1206	手代木功基（京都大・院）ほか：滋賀県高島市朽木におけるトチノキ巨木林の立地環境	P1220	紺野祥平（首都大・院）ほか：Terra/ASTER夜間熱赤外画像により捉えられた関東平野西部山地斜面における斜面温暖帯の特徴ー表面温度と地形・植生の関係について
P1207	藤岡悠一郎（学振PD・京都大）ほか：滋賀県高島市朽木における朝市の展開とトチノミ利用の変遷	P1221	西曉史*（筑波大・院）・日下博幸（筑波大）：空っ風のメカニズム解明のための局地気象モデル開発
P1208	加藤早百合（首都大・院）：鳥海山西麓斜面におけるブナの生育に着目した移行帯での森林立地特性	P1222	ホック ルクサナ（首都大）ほか： Relationship between heavy rainfall and atmospheric circulations over Bangladesh
P1209	近藤博史（横浜国立大・院）ほか：南アルプス・野呂川上流域におけるヤナギ・ハンノキ属樹種の分布を決定する地形学的特徴	P1223	福岡義隆（立正大）ほか：年輪成長曲線における地域間・樹種間相関およびCross-dating法による時間的継続性の検討
P1210	大島千穂*（上越教育大・院）・山縣耕太郎（上越教育大）：焼山火山における植生分布への噴火及び環境条件の影響	P1224	飯泉佳子（国際農林水産業研究センター）：マーシャル諸島共和国マジュロ環礁における地下水質の地理的分布
P1211	助野実樹郎*（北海道大・院）・岩花剛（アラスカ大）：高山植物は繁茂する？！ー大雪山における高山の環境と植生のモニタリングから	P1225	船引彩子（日本大）ほか：東京都世田谷区～杉並区における地質条件を反映した地下の熱伝導率と地下水流動の検討
P1212	阿部直美子（北海道大・院）ほか：モンゴル・カラマツ林における虫害被害の拡大と再生ー年輪年代学による解析	P1226	森本洋一*（法政大・院）・小寺浩二（法政大）：魚野川流域における積雪期の水質経時変化について
P1213	岡田牧（筑波大・院）ほか：WBGT算出のための黒球温度推定式の比較評価		
P1214	一ノ瀬俊明（国立環境研）：衣服の色彩がもたらす表面温度の違いに関する屋外実験		

第1・2日目 3月28・29日 (水・木)

第 13 会 場

ポスター発表

ポスター発表は、3月28日(水)10時~17時と3月29日(木)9時~15時に行われます。
発表者による説明は、3月28日(水)12時~12時30分もしくは3月29日(木)12時~12時30分に行いますので、多くの会員の参加を希望します。

P1301	江端信浩* (早稲田大・院)・久保純子 (早稲田大) : 淀川流域木津川水害防備林の今日的意義	P1312	林悦子 (奈良大・院) ほか : GISを利用した奈良県川上村の限界集落における空き家対策の評価分析
P1302	山田誠 (奈良女子大) ほか : 河川の流下に伴う流域環境の変化—紀伊半島四河川の比較	P1313	荒木一視 (山口大) : 戦前期の台湾を中心とした農産物・食料貿易—フードレジーム論との関係から
P1303	松山洋 (首都大) ほか : 自然地名の分布に関する地理情報学的研究	P1314	西野貴裕 (九州大・院) : 換金作物栽培の導入による生業変化に関する研究—タイ東北部の山地村落を事例として
P1304	垂澤悠史 (三重大・院) ほか : 地域の景観とマップ	P1315	浅田晴久 (学振PD・首都大) : インド・アッサム州、プラマプトラ川氾濫原における稲作体系の地域差と変容—特に民族間の差異に着目して
P1305	田上善夫 (富山大) : 風の祭祀の展開とその景観	P1316	増野高司 (国立民族学博・研) : 農村開発プロジェクトに対する住民の対応—タイ北部の山村における家畜導入の事例
P1306	辻本侑生 (筑波大・学) : 福井市味見河内地区における焼畑の存続と課題	P1317	丹羽孝仁 (東北大・院) : 東北タイにおける大卒労働者の労働力移動と就業歴
P1307	香川雄一*・佐渡稔之 (滋賀県立大) : 滋賀県内のため池における外来魚の分布傾向	P1318	水野一晴 (京大) : インド、アルナチャル・プラデシュ州における王族の王宮およびチベット法王政府の税徴収のための役所としてのゾン(城塞)の成立
P1308	八木令子* (千葉県教育庁)・吉村光敏 (千葉県立中央博) : 地形景観を主題にした鳥瞰図の展示とその手法—千葉県立中央博物館「山の科学画」展とその後	P1319	塚本章宏* (立命館大・PD)・松葉涼子 (学振PD・南山大) : 近世京都の諸師諸芸・諸職名匠データベースの構築に向けて
P1309	佐藤浩 (国土地理院) : 国土地理院背景地図等データ利用規約の策定	P1320	遠藤匡俊 (岩手大) : 1800年代初期のアイヌ集落にみられる戸数と人口の特徴
P1310	森本健弘 (筑波大) : メッシュデータの作成活用による耕作放棄と農村環境の検討	P1321	山下博樹 (鳥取大) : バンクーバーにおける都市圏構造再編計画と公共交通指向型開発の進展
P1311	寺谷諒* (京大・院)・酒井徹朗 (京大) : 詳細な社会的条件をふまえた土地利用変化とマルチエージェントモデルの研究—大阪府を事例として	P1322	小島大輔 (長崎国際大) : カナダ・ソルトスプリング島における観光地化の特徴
		P1323	志村喬 (上越教育大) : イギリス中等地理教材等における原子力発電所問題・事故の扱い